

# 資源循環型施設建設候補地選定に係る 中間報告書の概要

## 4 施設の概要

配置する施設構成は、さまざまな条件により変動しますが、委員会では次のような内容としました。

全体施設構成		施設規模等
	概略必要面積	
・ごみ焼却施設	4,000 m <sup>2</sup>	1)ごみ焼却施設(ストーカ炉+灰溶融方式)
"    建替用地	7,000 m <sup>2</sup>	・施設規模 : 150t/日(75t/日×2炉)
・リサイクルプラザ	2,000 m <sup>2</sup>	・受入対象 : 可燃ごみ
・余熱利用施設(地域還元施設)	5,000 m <sup>2</sup>	2)リサイクルプラザ
・ストックヤード	1,500 m <sup>2</sup>	・施設規模 : 26~35t/日
・管理棟	500 m <sup>2</sup>	・受入対象 : 不燃ごみ、可燃系粗大ごみ、有害ごみ
・トラックスケール	100 m <sup>2</sup>	・プラザ機能 : 今後検討
・洗車場(2台分)	100 m <sup>2</sup>	3)発電施設
・駐車場(一般車100台、バス3台)	2,800 m <sup>2</sup>	・発電量 : 発電効率または熱回収率
・構内道路(幅員10m)	9,000 m <sup>2</sup>	10%以上
・緑地	8,000 m <sup>2</sup>	4)余熱利用施設 : 今後検討
合計	40,000 m <sup>2</sup>	(地域還元施設)

## 5 平成18年度の予定

平成18年度は、新上田市発足後の日程を考慮し、以下のスケジュール案のとおり進める予定です。

月	項目	内容
5	候補地抽出 地域還元施設検討	建設可能地域から条件に基づき候補地を抽出する 地域還元施設の内容等の検討
6	評価表検討	候補地を評価するための評価点数表の検討 優先項目に基づく候補地の絞り込み
7 9	候補地の評価 候補地の情報収集 候補地絞り込み	追加項目に基づく候補地の評価、絞り込み 地域情報、候補地に対する住民からの意見の収集、検討及び現地調査 総合的な評価に基づき候補地を絞り込む
10	提言まとめ	候補地の提言、付帯意見等のまとめ

## 6 建設候補地の選定

候補地は、残った建設可能区域から以下の条件を設定して抽出します。

【候補地抽出条件】

- 面積は40,000 m<sup>2</sup>程度
- 比較的平坦な地形

## 7 お問い合わせ

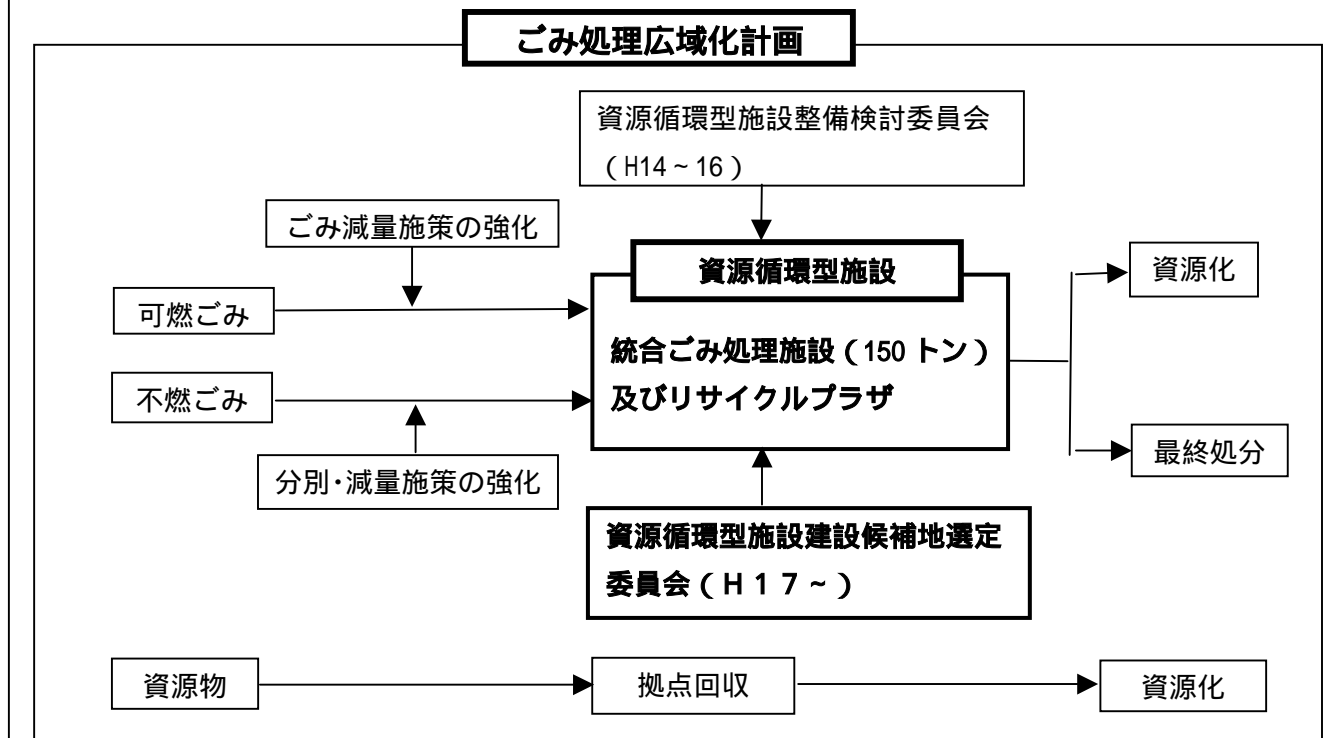
上田地域広域連合 ごみ処理広域化推進室 電話：0268-23-2104 FAX：0268-26-8980  
Eメール：webmaster@area.ueda.nagano.jp  
中間報告書及び委員会開催経過は広域連合ホームページに掲載しています  
<http://www.area.ueda.nagano.jp/>

上田地域広域連合が計画している資源循環型施設(統合ごみ処理施設及びリサイクルプラザ)の建設候補地を検討している選定委員会の中間報告がまとまりました。  
委員会は、平成17年5月24日に第1回を開催し、平成18年1月17日までに10回の会議を重ねてきたところです。

当初、委員会は、平成17年度中に提言をまとめる予定で、検討を進めてきましたが、平成18年3月6日の新上田市発足を前に委員会の提言をまとめるのは困難と判断し、建設可能区域の選定までにとどめ中間報告書を作成しました。概要を以下にお知らせします。

## 1 ごみ処理広域化計画

現在、上田地域広域連合が進めているごみ処理広域化計画の概要は、図に示すとおりです。上田、丸子、東部の3ヶ所のクリーンセンターを統合し、あわせて不燃ごみを処理するリサイクルプラザを建設する計画となっています。

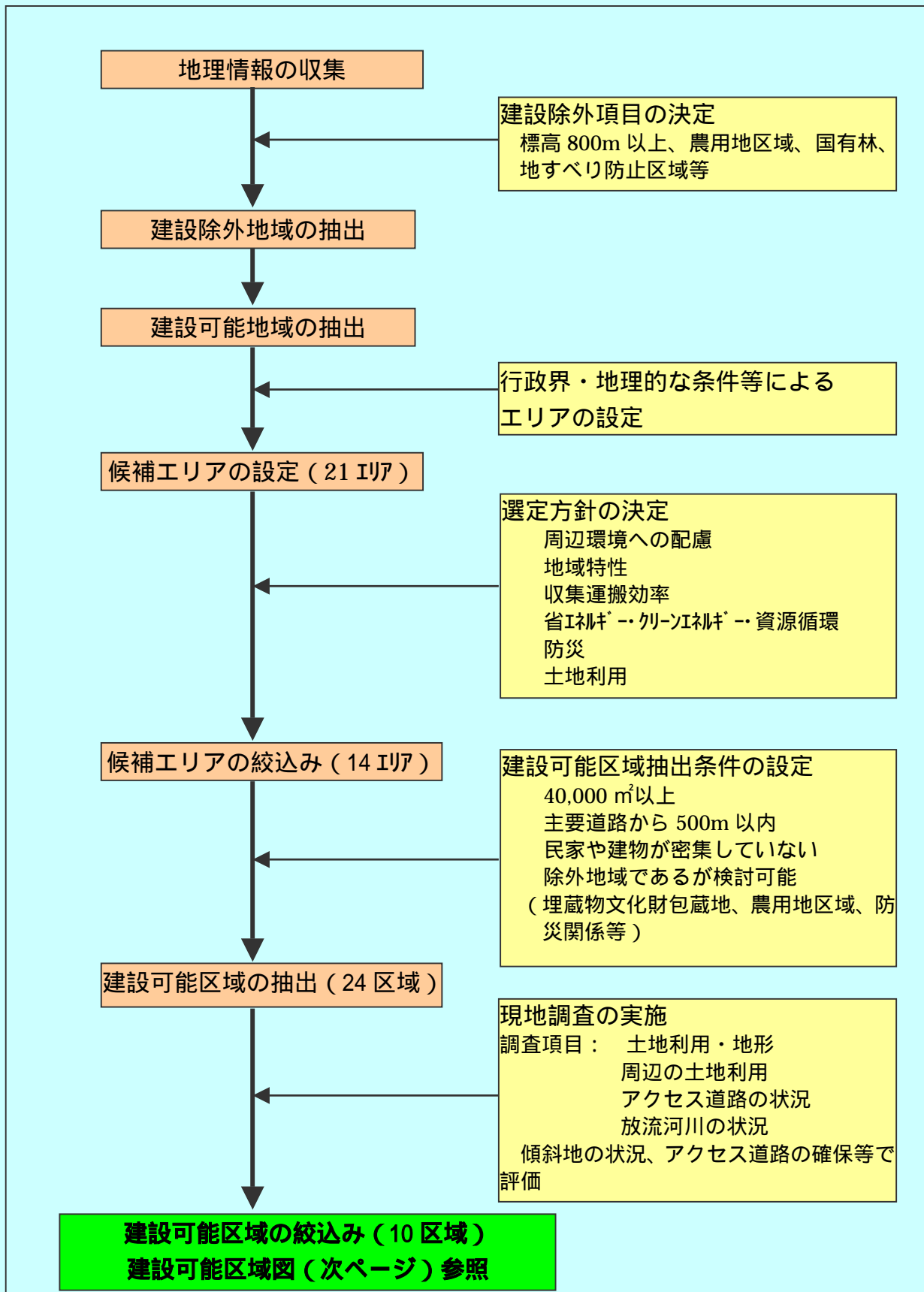


## 2 基本方針

施設の整備は分散型の施設でという意見もありましたが、広域化計画や国の交付金制度を勘案し、統合施設としての候補地を選定することとしました。さらに、委員会では広域連合内に必要最小限の資源循環型施設が必要であること、情報公開を広く行うこと、過去の選定経過は参考とするがこれにとらわれないこととしています。

### 3 建設可能区域の決定までの流れ

委員会における建設可能区域の決定までの流れは、以下の図のとおりです。



## 建設可能区域図

